# 温室効果ガス研究の最前線

一パリ協定の目標達成に向けて一

 $13:30 \sim 15:00$ 

地球温暖化の鍵となる、二酸化炭素、メタン、 一酸化二窒素などの温室効果ガス。

観測やモデルによる最前線の研究から、温室 効果ガス循環の現状や将来の予測を紹介し、 パリ協定の1.5℃目標の達成に向けて何が必要か、 考えます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催 形態 Zoomウェビナーによるオンライン開催

参加無料

言語 日本語(英語講演には同時通訳有り)

参加以下のURLからご登録後、参加用のZoomリンクが届きます。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\_oBaqYK-OQ6ao7u1giXcHMQ

国立環境研究所、グローバル・カーボン・プロジェクト(GCP)、フューチャーアース

環境研究総合推進費SII-8

問い

国立環境研究所 地球システム領域 地球環境研究センター GCPつくば国際オフィス https://www.cger.nies.go.jp/gcp/ Email: gcp@nies.go.jp



GLOBAL CARBON

### 温室効果ガス研究の最前線一パリ協定の目標達成に向けて一

出演

■ 講演者



Giles Sioen
フューチャーアース日本ハブ シニアオフィサー 国立環境研究所 特別研究員

気候科学の一年を振り返って: 「10 New Insights」と本報告のアジアにおける重要性



Prabir K. Patra

海洋研究開発機構 地球表層システム研究センター 物質循環・人間圏研究グループ グループリーダー代理

大気観測に基づいた主要な温室効果ガス3種の地域別収支見積もり



伊藤昭彦

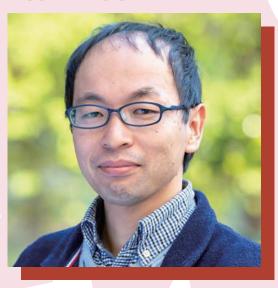
国立環境研究所 地球システム領域 物質循環モデリング・解析研究室長

パリ協定・グローバルストックテイクに向けたGHG監視

### 温室効果ガス研究の最前線ーパリ協定の目標達成に向けて一

出演

#### ■ 講演者



#### 中岡慎一郎

国立環境研究所 地球システム領域 大気・海洋モニタリング推進室 主任研究員

地球を巡る二酸化炭素を追う ~Global Carbon Budget報告~



#### 遠嶋康徳

国立環境研究所 地球システム領域 動態化学研究室長

波照間島における大気観測に基づく COVID-19からCOVID-19後の中国からのCO。排出量の変化の推定



羽島知洋

海洋研究開発機構 環境変動予測研究センター 地球システムモデル開発応用グループ グループリーダー代理

人為CO<sub>2</sub>排出量に基づく温暖化予測:地球システムモデル

## 温室効果ガス研究の最前線一パリ協定の目標達成に向けて一

出演

■ 開会挨拶



三枝信子 国立環境研究所 地球システム領域長

■ コメンテータ



江守正多 国立環境研究所 地球システム副領域長

■ モデレータ



白井知子

国立環境研究所 地球システム領域 地球環境データ統合解析推進室長/GCPつくば国際オフィス代表